

袋小だより

令和8年1月号
北区立袋小学校

いつまでも幸せでいるために

(BGM: 冬がはじまるよ 槇原敬之)

校長 江口 千穂

あけましておめでとうございます。

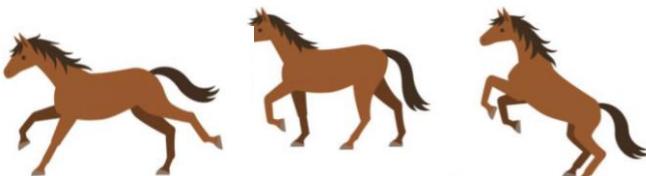
今年は午（うま）年。60年に一度めぐってくる「丙午（ひのえうま）」の年です。AIで調べたところ、「力強さや躍動感の象徴で新しい挑戦や発展を意味している」「火の性質をもち、強いエネルギーで道を切り開く縁起のよい年である」等、前向きで明るい意味がたくさん示されていました。

「馬（午）」は古くから、日本だけでなく世界中で縁起のよい動物として親しまれ、幸運の象徴であるとされています。神様のお使いとして神話や昔話にも登場しますし、映画やドラマでも白馬に乗った英雄がたくさん出てきます。翼のあるペガサスや角をもつユニコーン等、絵画や彫刻、伝説やおとぎ話に出てくる姿も魅力的です。私は車が好きなのですが、馬が跳ねる姿をロゴマークとして採用しているメーカーもあります。

不安定で先が見通せない世の中ですが、エネルギーに満ちあふれ、幸運や前進をもたらす馬の運気にあやかって、これからを生きる子供たちには、明るく、"スーパー前向き"に、そして、チャレンジ精神で自分自身を大きく大きく高め、活躍・飛躍してほしいと願います。

さて、今年の年末年始（冬休み）はいかがでしたか。家族や友達と一緒に、心穏やかに楽しいひとときを過ごされたことだと思います。健康や安全に気を付け、穏やかに新年を迎えたこと、普通やあたり前のことは大きな価値があり、とても尊いものであると思います。日々の「あたり前」に感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。そして、いつまでも幸せでいられるように一人一人がしっかりと考え、よりよい方向性を探り、皆で力を合わせ行動していきましょう。

令和8年。新たな目標を立て、今後も子供たちのためによりよい教育活動を継続していきます。地域や保護者の皆様とともにより一層の教育活動を充実してまいります。是非お力添えをいただきたく、お願ひいたします。



お 知 ら せ ○ 今年度最後の保護者会についてのお知らせです。ご都合を合わせてご参加くださいますようにお願いします。詳細は後日配布のお知らせをご覧ください。<日時>2月18日（水）14時30分～

○ 1月28日（水）は小中連携の授業研究日です。そのため、以下のクラスは、5時間授業となります。
1年両クラス、2年両クラス、3年1組（下校時刻は14時40分頃です。）ご承知おきください。

○ 1～3月の避難訓練は予告なしで行います。ご承知おきください。

展覧会を終えて

図工専科

去る12月11日から13日にかけて、本校の体育館で3年に一度の展覧会を行いました。「魅せよう アートの世界 みんなの宝箱 THE☆展覧会」というテーマで、1学期から作品づくりに取り組んできた子供たちは、展覧会の当日、いつもとは違う体育館の様子に驚きの声をあげていました。

児童鑑賞日には、担任の先生から他の学年の作品の説明を受けた後、自由に見る時間になりました。まず自分たちの学年の作品を見る子もいれば、お世話になっている登校班のお兄さんお姉さんの作品を見に行く子もいて、子供たちそれぞれが、この3日間で多くの作品世界に触れ、たくさんの発見をしたようです。作品をつくるだけではなく、友達の作品の良さを味わうこともまた展覧会の大きな目標の一つでしたが、目の前の作品とじっくりと向き合ったり、友達とお気に入りの作品についての話をしたりする姿を見ることができました。

当日は大勢の保護者や地域の皆様にご来場いただき、ありがとうございました。

1月以降も北区の連合展覧会等が続きます。今しばらくして作品を持ち帰りましたら、あらためてご家庭でもお子さんと感想などをお話しいただけましたら幸いです。



道徳授業地区公開講座

道徳主任

今年度は、1月17日（土）2～3校時に道徳授業地区公開講座を実施します。

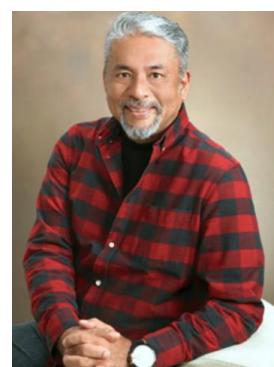
道徳は、年間35時間（1年生は34時間）資料や教材・先人の生き方から、「自分自身に関すること」・「他者とのかかわりに関すること」・「集団や社会とのかかわりに関すること」・「生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること」について学び、自己の生き方を見つめ、心を耕す大切な学習です。

今年度は「生命の尊さ」をテーマに取り上げ、2校時に全学級で「生命尊重」の授業を行います。

3校時には4～6年生を対象に、俳優で和歌山観光大使・十勝帯広観光大使の小西博之様をお迎えし、『生きる～人生は楽しめ！～』と題し、体育館にて特別授業を行います。保護者のみなさまもご参加いただけます。この機会に貴重なお話を一緒に聴きませんか。

また、3校時終了後には、保護者向けの講演会・意見交流会も予定しています。

お子様と道徳心について考える機会にしていただけたら、幸いです。



小西 博之 氏